

第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	令和6年度第1回武蔵村山市市民協働推進会議
開 催 日 時	令和6年4月24日（水）午後6時30分～9時35分
開 催 場 所	ボランティア・市民活動センター（市民総合センター2階）会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出 席 者：田中委員（座長）、野崎委員（副座長）、高橋委員、齋藤委員、瀬口委員、米光委員、内野委員、清水委員、雨宮委員、並木委員 市 担 当 課：ごみ対策課減量推進係長、ごみ対策係長、ごみ対策係主事 事 務 局：協働推進課長、協働推進課係長、協働推進課主事 オブザーバー：ボランティア・市民活動センター センター長、センター長補佐 欠 席 者：なし
議 題	1 武蔵村山市協働事業提案制度令和5年度実施事業報告会実施要領について 2 武蔵村山市協働事業提案制度令和5年度実施事業報告会について 3 事業評価について
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1 武蔵村山市協働事業提案制度令和5年度実施事業報告会実施要領について 武蔵村山市協働事業提案制度令和5年度実施事業報告会実施要領について、事務局案のとおり決定した。 議題2 武蔵村山市協働事業提案制度令和5年度実施事業報告会について 武蔵村山市協働事業提案制度令和5年度事業実施団体が事業報告を実施した後、質疑応答を行った。 議題3 事業評価について 評価結果を確認し、委員が意見交換を行った。 また、武蔵村山市協働事業提案制度令和7年度実施事業募集要項（案）の委員による確認方法について、事務局で検討することとした。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) (発信者) ◎印：座長 ○印：委員 ●印：事務局 △印：事業実施団体 ▲印：市担当課	*会議に先立ち、委嘱書の交付、新任委員及び事務局職員の紹介、オブザーバーの同席承認を行った。 *附属機関等の会議及び会議録の公開に関する指針に基づき、議題1及び議題2を公開、議題3を非公開とすることとし、議題1及び議題2の傍聴の承認を行った。 議題1 武蔵村山市協働事業提案制度令和5年度実施事業報告会実施要領について 一 議題1について、事務局から説明一 ◎ 事務局の説明に対する質疑等はあるか。 ○ 質疑等なし。 ◎ 議題1について、事務局案のとおりとすることに異議はないか。 ○ 一同、異議なし。 ◎ 議題1について、事務局案のとおりとする。

審 議 経 過

(主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)

(発信者)

◎印：座 長

○印：委 員

●印：事務局

△印：事業実施団体

▲印：市担当課

議題 2 武蔵村山市協働事業提案制度令和 5 年度実施事業報告会について

ー報告会の進め方について、事務局から説明ー

- ◎ 事務局の説明に対する質疑等はあるか。
- 質疑等なし。

(武蔵村山市協働事業提案制度令和 5 年度実施事業報告会)

団体名：あそびりぼ一場！

事業名：子どもたちのココロとカラダの育成事業

ー実施団体による報告ー

【質疑応答】

- 協働事業提案制度の団体として 2 年目を迎え、1 年目の反省を生かしている点や数多くの企画を実施した点は評価できる。自己評価書の「協働型事業への発展が見込めるか」という項目で、前年度より低い点数で自己評価した理由を聞きたい。
- △ 令和 6 年度に協働事業提案制度が一時休止となり、協働事業として活動継続が不可能であることや、協働事業提案制度の活用により公的な側面を持ったことで、参加費用を抑えて事業を実施せざるを得なかったためである。参加費用を抑えて事業を実施した結果、令和 5 年度は赤字が発生したことから、収益を上げることで、団体を自立させる選択肢も視野に入った。
- ◎ 協働事業提案制度の一時休止に伴い補助金の交付もなくなり、事業継続が困難になると思うが、2 年間の協働事業の経験を踏まえて、今後の団体運営について考えていることはあるか。
- △ 企画について、保護者との交流の場である「紡ぐカフェ」の参加費用の値上げは考えていないが、「支援者育成勉強会」は、参加者から企画継続を目的とした参加費用の値上げを指摘されたことがあった。「支援者育成勉強会」と「運動あそび」の参加費用を値上げすることで、今年度は黒字運営となると予想している。
- 「支援者育成勉強会」の参加費用は、どの程度値上げしたのか。
- △ 全 5 回分を 3,000 円で設定していたが、1 回当たり 5,000 円に値上げした。大幅な値上げだが、一般的な研修参加費用を参照して決定した。
- 自己評価書に「毎月の企画に追われ、広報活動の開始に遅れの出る月があった」とあるが、イベント回数を見直しを考えたことはあるか。
- △ 令和 6 年度の活動に当たって、過去 2 年間で反響が大きかった企画に絞って実施することを考えている。
- 素晴らしい事業だと思うので、ぜひ今後も事業を継続していただきたい。参加者の募集に当たって、キャンセル待ちが発生したとのことだが、キャンセル待ちが発生した企画名やその人数、参加できなかった方への対応を聞きたい。
- △ キャンセル待ちが多く発生した事業は、乳幼児を対象とした企画が多かった。定員を途中から増やしたが、参加者 1 人当たりに対する対応時間を確保するため、8 組を最大定員数とした。参加できなかった方には、次回実施分や別団体の企画を案内した。令和 6 年度より「健やかひろば（理学療法）」として市の事業に参入したことから、「健やかひろば」でも対応していきたい。

審 議 経 過

(主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)

(発信者)

◎印：座 長

○印：委 員

●印：事務局

△印：事業実施団体

▲印：市担当課

- 保育園・幼稚園の巡回指導への参入や「健やかひろば（理学療法）」といった令和6年の団体活動は、協働事業提案制度の一時休止により補助金の交付がなくなったことが大きな要因か。
- △ お見込みのとおり。しかし、参加費用の値上げにより多くの収益を得ることは現実的ではないと考えていたので、その代替案として、市の受託事業を開始することは想定していた。
- 今後は、事業の受託費が大きな資金源になるという認識でよいか。
- △ お見込みのとおり。
- 公的な支援と市民団体の活動が結びついた事例だと思う。公的な支援として、広報活動における支援はどうだったか。
- △ 広報活動における支援が一番大きいと感じた。それでも、市報だけでは市外の方には伝わらないので、広報は今後の課題として認識している。子育て広場の情報等は市報掲載を続けるので、今後も市とは協力していきたい。
- 貴団体のような、社会的課題の解決に向けて取組を行う市民活動団体が、今後も協働事業提案制度を通じて育成されることを願う。今後も活動を続けていただきたい。
- 素晴らしい活動だと思う。活動に当たって、武蔵村山市及び近隣市における支援が必要とされる児童の潜在人数は把握しているか。
- △ 家族が認識していない等、水面下での人数が多いため正確な人数の把握はできていないが、市内の幼稚園や保育園の傾向として、各学年の中で1クラスの半分くらいの人数が該当するという印象がある。
- 潜在的な人数が相当数あるということか。武蔵村山市と近隣市で活動しているとのことだが、今後も広域的な活動を維持する予定か。
- △ 基本的には武蔵村山市内の子育て支援に注力するが、市外から依頼があった際はその都度対応する予定である。

団体名：榎三丁目都市核地区街づくり準備会

事業名：「駅を中心とした歩いて暮らせるまち」形成に向けた生活道路における通過交通および速度抑制の社会実験

－実施団体による報告－

【質疑応答】

- 速度測定は人がいる状態で行っているのか。
- △ 測定員が道路横に待機し、スピードガンで測定している。
- 狭窄テープではなく、測定員がいることが速度低下の要因となっているのではないか。
- △ その可能性もある。速度低下の要因の特定は困難である。
- 測定員がいない状態で、狭窄テープによる速度低下の実験もした方がよかったと思う。ポストコーンの設置による狭窄は考えたか。
- △ ポストコーンの設置も考えたが、今回は最初の社会実験であるため、テープによる狭窄とした。テープによる狭窄の実験結果を踏まえ、今後の実験方法を考えていきたい。
- 意義のある実験だと思うが、実験の検証結果がより明確になる方法で実験できることが望ましい。今後は、ポストコーンの設置も含めて立体的な実験ができればよいと思う。
- △ 道路占用許可は道路下水道課に、道路使用許可は市を通じて東大和警察署に申請書を提出する必要がある。立体的な実験を行う際は、東大和警察署と、より自動車に対する安全面を考慮した実験方法を考える必要

審 議 経 過

(主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)

(発信者)

◎印：座 長

○印：委 員

●印：事務局

△印：事業実施団体

▲印：市担当課

- があると思う。
- 測定期間に5、6、9、12月を選んだ理由はあるか。
 - △ 協働事業として採択されたのが4月であり、当初予定していた事業計画を踏まえ、5月から実験を開始した。5月は狭窄テープを使用していない状態で速度測定を行い、6月から狭窄テープを使用した実験を開始した。その後、会員の都合から、平日の実験を毎月実施することが困難であったため、2か月に1回の頻度で実験を行うこととした。
 - 全区画で最高時速30km/hとなっている道路は、標識の設置及び路面標示はされているのか。
 - △ 標識の設置及び路面標示はされている。
 - 普段は何人体制で活動しているのか。
 - △ 平日の活動は5人で、休日は約8人で活動している。
 - 今後の展望として、令和6年度は地区まちづくり協議会の申請をするとのことだが、その場合は他の助成制度を活用して団体活動を維持する予定なのか。
 - △ 地区まちづくり協議会に申請する予定だが、申請予定時期が補助金の交付決定時期を過ぎていることから、令和6年度は地区まちづくり協議会の補助金は活用しない。令和6年度は活動費の全額を団体負担とし、地区まちづくり協議会の補助金の活用は、来年度以降を予定している。地区まちづくり協議会に申請する最大の理由は、行政との連携強化である。行政との連携強化により、現状の社会実験を継続しながら、団体活動により蓄積した交通量調査の経験や技術を生かし、新たに開通した十字路の速度抑制実験を実施したいと考えている。
 - あくまで自主的な活動という立場を維持したいということか。
 - △ お見込みのとおり。
 - 当初は実験対象の候補として道路が2つあったと記憶しているが、1つに絞ったのか。
 - △ 候補として道路を2つ挙げていたが、人手不足等の要因から1つの道路で実験した。市と協議し、測定距離と通過交通量を考慮して、実験対象の道路を決定した。
 - 狭窄テープの夜間の視認性はどうか。
 - △ 夜間の視認性はない。狭窄テープの太さが細く、運転席から見えにくいという指摘があったので、令和6年度は狭窄テープの太さを2倍にする予定である。
 - 歩行者と運転手では視覚範囲も異なると思う。夜間の視認性や立体物の設置といった反省点を踏まえ、東大和警察署等と協議しながら活動を維持してほしい。
 - △ 立体物の設置は、運転手の安全確保のため東大和警察署との協議が不可欠である。また、カラーコーン等の軽量の設置物は風で飛んでしまうため、社会実験は天候にも左右されるという課題がある。
 - 警察や他市区町村が既に同様の社会実験をしていると思うが、他事例の把握はしているのか。
 - △ 実際に社会実験中の道路を見学し、ポールやハンブを設置している事例を確認した。また、国土交通省が社会実験用のハンブの貸出しをしていることは把握している。しかし、ハンブの設置は、市と協議した結果、通過時の振動や自動車運転の安全確保のため中止となった。
 - 規制の問題により、市民活動団体のみで社会実験を実施することは困難だと思う。経費の問題も含めて、公的機関等と連携して実施したり、他事例の実験内容を参考にした方が良いと思う。
 - △ 市民活動団体のみで社会実験を実施する困難さは理解しているが、市

審 議 経 過

(主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)

(発信者)

◎印：座 長

○印：委 員

●印：事務局

△印：事業実施団体

▲印：市担当課

や警察が実施することも、人手や経費の観点から困難だと思う。協働事業として、行政が各種許可申請など法律に係る手続きを行い、市民活動団体がその手足となって社会実験を行うという在り方が望ましいと思う。実際に、許可申請に当たり東大和警察署とやり取りを重ねる中で、交通安全のために活動を継続してほしいとの声もいただいている。行政と市民活動団体がそれぞれの活動範囲で連携することが重要だと思う。

◎ 社会実験は、晴れている日のみ実施したのか。

△ 社会実験の最初の日には台風並みの天候の中で実施したが、その後は晴れが続いた。日陰がないことから、晴れの日には高温となり、暑く感じる。

◎ 地区まちづくり協議会に参画することなので、ぜひ今後も活動を継続していただきたい。

団体名：MS P村山サポートプロジェクト

事業名：むさむらゴミ減大作戦

市担当課：ごみ対策課

－実施団体による報告－

【質疑応答】

○ 収支決算書の中で、予算時に計上されていた出店料の収入がなくなっているが、出店料を徴収しなかった理由は何か。また、熱中症対策費及び発電機を備品購入費として支出に計上しているが、その用途を聞きたい。

△ 令和5年度は、出店料を徴収する代わりに、チラシ配布等を出店団体に協力してもらった。また、青少年の育成に携わる市民活動団体からは出店料の徴収を行わず、各団体のPRに尽力してもらいたいと思った。令和6年度も同様に、出店料は徴収しない考えである。

備品購入費が発生した理由は、5月の活動中に熱中症患者が発生したことで、熱中症対策の必要性を感じ、ポータブルエアコンとその発電機を購入したためである。令和4年度に購入したミストシャワーと併用して活用した。

◎ 配布資料に、ごみ削減を啓発する文章が4か国語で記載されているが、何語で記載しているのか。

△ 自団体の別の活動として、外国人市民への日本語学習支援をしている。その活動で把握したニーズを踏まえ、日本語のほかにタイ語・ベトナム語・中国語(繁体字)で作成している。

○ 活動によって削減されたごみの量は把握しているか。

△ 正確な数字は把握していないが、リサイクルまつりによるごみの削減量は500kgであり、他団体に寄付したものも含めると1tに近い量になると思う。

○ 団体活動場所が限定されていることから、今後は市全域で活動していただきたいが、活動範囲を広げる予定はあるか。

△ 以前は市役所駐車場で活動したことがあった。山王森公園での活動を計画したこともあるが、駐車場スペースが不足し、実施できなかった。新たに、山王森公園を拠点とする市民活動団体が活動を開始しているので互いに活動場所の住み分けをする予定である。イオンモールむさし村山店内の駐車場で活動したこともあるが、賃借料の関係から頻繁に実施することは困難である。

○ 山王森公園のフリーマーケットに参加したことがあるが、フリーマー

審 議 経 過

(主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)

(発信者)

◎印：座 長

○印：委 員

●印：事務局

△印：事業実施団体

▲印：市担当課

ケットの文化が根付いておらず出店数が少ないため、活動範囲を広げてフリーマーケットの文化を普及してほしい。

また、ごみ対策課で粗大ごみや家電を回収していると思うが、回収したごみをリサイクル等するに当たって、その量を発表しているのか。

▲ 市ホームページ及びごみ情報誌で公表している。

○ 市民のごみ減量に対する意識向上のためにも、積極的にPRしていただきたい。

○ 収支決算書を見ると、補助金を主な収入源として活動してきたと思うが、補助金がなくなっても同様の活動を維持できるのか。具体的な展望があれば教えていただきたい。

△ 令和6年度は、出店料として、フリーマーケットは1日当たり500円、ハンドメイド・ワークショップは1日当たり1,000円を徴収する予定である。青少年の育成に携わる市民活動団体からは、出店料を徴収する予定はない。

○ 出店料を徴収するとのことだが、提示した出店料では令和5年度と同額の収入を得ることは不可能だと思う。令和5年度は人件費や賃借料が支出の多くを占めているが、支出を削減する予定はあるか。

△ 協力者の方に、ボランティアとして可能な範囲で協力してもらうことで、チラシ配布委託料等の経費の削減が可能になると考えている。

○ その場合、人手不足による支障はないのか。

△ 令和6年度の現時点では、活動に支障はない。ただし、規模は小さくなる。4月は2人体制でボランティアとして活動を行った。

○ 人手が減っていても活動できているということか。

△ 令和5年度までの助成金で用意した設備等を活用することで、活動を維持できている。

団体名：子育て支援団体 ママトコ

事業名：ママトコフェスティバル～孤育てから心育てに～

－実施団体による報告－

【質疑応答】

○ 自己評価書における項目「効率的なコストで事業運営ができたか」に「3」と付けているが、その理由は何か。

△ イオンモールむさし村山でイベントを実施したことにより、参加者は多く集まったが、賃借料は高額になった。それを踏まえ、費用対効果について考えた結果の評価となっている。

○ 令和4年度の実施事業報告会でも指摘されたことだが、人員体制に不安を感じる。現在は何人体制で活動しているか。

△ 子育て世代の会員が中心となって活動しており、令和4年度から人数は変わっていない。

○ 令和5年度に新たに団体に加入した方はいないのか。

△ 加入者はいないが、活動への協力者は年々増えている。

○ 令和6年度に協働事業提案制度が一時休止となることで、補助金の援助がなくなるが、今後の展望について考えはあるか。

△ 賃借料や人件費を計算した上で、出店料の値上げ等により対応したい。

○ 事業経過報告書の中で「ママトコだからこそを令和6年度は見出していきたい」とあるが、ママトコらしさを生かしていきたいことはあるか。

<p>審議経過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)</p> <p>(発信者) ◎印：座長 ○印：委員 ●印：事務局 △印：事業実施団体 ▲印：市担当課</p>	<p>△ 他の市民活動団体と比較して会員が少ないが、会員の年齢層が低いため、会員の行動力には自信がある。明確な目標はないが、行動力を生かした団体活動を、ママトコらしさとして生かしていきたい。</p> <p>○ 補助金がなくなることで、大型イベントの実施が困難になると思うが、自治会と連携してイベントを実施することは考えたことがあるか。お下がり交換会のみの実施であっても、市民に団体活動を周知する機会になると思う。</p> <p>△ 自治会から、連携してイベントを実施しないかと打診されたことはある。また、他イベントに出店したり、お下がり交換会を出張して実施することはあった。令和6年度からは、より積極的に他イベントと連携した事業展開をしたい。</p> <p>○ 補助金がなくなることで、イベント会場となるイオンモールむさし村山の賃借料の負担が大きくなると思う。賃借料割引のため、イオンモールむさし村山と共同してイベントを実施する等の考えはあるか。</p> <p>△ イオンモールむさし村山は、2年前から市民活動団体と協力したイベントを実施しており、出店料は現在も明確に定まっていない。しかし、市民活動団体のイベントであるという趣旨を踏まえ、安価な賃借料で会場を提供してもらっている。</p> <p>○ 少人数で多くのイベントを実施している行動力は素晴らしいと思う。ただし、地域の他イベントとの連携をより深めていただきたい。例えば、エムフェスの開催日である3月30日、31日は、市の桜まつりの開催日でもあり、同じ日に市内でイベントが2つも実施されることは参加者の取り合いを起こしてしまうと思う。</p> <p>△ 令和4年度は、開催時期を協議し、エムフェスで作ったハンドメイド作品を桜まつりのステージの装飾に使う等の連携をしていた。令和5年度は、都合が合わず同日開催となった。</p> <p>議題3 事業評価について</p> <p>◎ 議題3は評価に係る協議を含むため、非公開とする。オブザーバー及び傍聴者には退席いただく。</p> <p>(オブザーバー及び傍聴者退席)</p> <p>—非公開—</p> <p>◎ 以上をもって、令和6年度第1回市民協働推進会議を終了する。</p>
<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p><input type="checkbox"/> 公開 傍聴者： _____ 4 人</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 一部公開</p> <p><input type="checkbox"/> 非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p>〔 事業の評価過程を明らかにすることで、公正な事務を行えなくなるおそれがあるため。 〕</p>
<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p><input type="checkbox"/> 開示</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等：武蔵村山市情報公開条例 第8条第5号)</p> <p><input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等：)</p>
<p>庶務担当課</p>	<p>協働推進部 協働推進課 (内線： 242)</p>

(日本工業規格A列4番)